

平成 21 年 4 月 30 日

## 県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、生産活動が低下し、個人消費や観光関連が低調であるなど、全体では悪化している。

生産活動は、電子部品関連が低調で、食料品関連も伸び悩んでいる。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額や新車（乗用車・軽自動車）販売台数が前年を下回った。投資関連では、公共工事や民間建築工事、住宅着工ともに低調。その間、観光入り込み客数は前年を下回った。

### 【生産活動】 ... 低下

**電子部品**関連は、IC 生産やカラーLCD（液晶ディスプレイ）が需要の低迷により、低調に推移している。

3月の**生コン**生産は、公共工事向け、民間工事向けともに前年を下回った。

3月の**紙パルプ**生産は、生産調整により前年比 24.5% 減と前年を大きく下回った。

**木材**関係は、住宅建設向け需要が弱いことから、製材品が生産、出荷ともに低調に推移している。

3月の**大島紬**生産は、前年比 1.5% 減と減少幅が縮小したものの、減反基調に変化はない。

**焼酎**の生産および出荷は、ともに高水準で推移しているものの、一頃の勢いはみられない。

**かつお節**生産は、7か月連続で前年を下回った。

### 【畜産関連】 ... 弱含み

肉用牛（和牛）の枝肉相場は需要の低迷から前年を下回り、子牛価格も前年を下回っている。豚肉相場、ブロイラー相場、鶏卵相場もともに前年を下回っている。

### 【消費関連】 ... 低調

2月の百貨店売上げは、営業日がうるう年であった前年より1日少なかったこともあり、前年比7.3%減となった。衣料品は引続き動きが鈍く、食料品も生鮮食品売上げが伸び悩み、いずれも前年を下回った。2月のスーパー売上げは、営業日が1日少なかったことに加え、食料品が1年2か月ぶりに前年を下回ったほか、衣料品も前年を下回ったことにより、5.8%減と2か月ぶりに前年を下回った。なお、大型小売店（百貨店+スーパー）販売は、7か月連続で前年割れとなった。

3月の乗用車新車販売台数は、24.3%減と8か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は32.6%減、小型車は20.0%減といずれも前年を大幅に下回った。また、軽自動車も14.6%減と4か月連続で前年を下回った。

### 【観光関連】 ... 低調

3月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比6.1%減と2か月連続で前年を下回った。景気悪化によるビジネス客の減少に加え、大河ドラマ「篤姫」放映が終了し、ブームが沈静化したことなどが要因とみられる。地区別では全地区でマイナスとなったが、指宿地区の落込みが大きい。一方、種子島・屋久島地区は、白谷雲水峡の一部復旧もあって、前年並みとなった。この間の主要観光施設入場者数は、全般にやや伸び悩んだ。

### 【投資関連】 ... 低調

3月の**公共工事**は、大型工事の発注等により、件数、請負金額ともに前年を上回ったものの、水準としては低調。

2月の**民間建築工事**は、棟数、床面積は前年を下回ったものの、大型事業により、工事費予定額が前年を上回った。

2月の**新設住宅着工戸数**は、持家が前年を上回ったものの、貸家、分譲が前年を大きく下回り、全体で前年比12.0%減となった。

3月の主要**建設資材**卸売業者の売上げは、前年を下回った。

### 【貿易関連】 ... 輸入が4か月連続減少

2月の**輸出額**は、液晶標示板等の科学光学機器が前年を下回ったものの、半導体等電子部品やゴムタイヤ及びチューブが前年を上回ったこと等により、全体では1.5%増と4か月ぶりに前年を上回った。**輸入**は、原油及び粗油や穀物及び同調整品が前年を下回ったことから、全体では前年比67.2%減と4か月連続で前年を下回った。

### 【雇用情勢】 ... 悪化

2月の有効求人倍率は、前月を0.03ポイント下回る0.42倍となり、雇用情勢は悪化している。

### 【金融情勢】 ... 伸び悩み

**資金需要**は、企業の設備資金が伸び悩んでいる。

### 【企業倒産】 ... 一服

3月の**企業倒産**は、件数が5件と前年同月(9件)を下回り、負債額も4億円と前年(9億6,700万円)を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)鹿児島地域経済研究所( 099-225-7491 )